

### 第3章 健幸(けんこう)長寿のまち 第2節 早期発見・疾病予防

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
			合計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
保健医療課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス感染症が拡大し手指消毒液等の感染症対策物品が品薄となり、各施設ごとに確保することが困難であった中、一括購入することで必要な時期に必要な物品を公共施設等に備えることができた。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を				
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	0千円	①物品配布施設数	市内公共施設等物品配布施設数(配布施設数/配布希望施設数)	配布を希望する公共施設等にはすべて配布できるようにするため。				特になし					
	公共施設感染拡大防止対策事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	実績	R1実績	R2実績	R2目標値が未達成の理由・分析			特になし					
		特になし	12,200千円	6,518千円							R1目標			R1実績	R2目標	R2実績
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合							R2目標			R2実績	R2目標	R2実績
		地域の諸活動やスポーツ、イベント等を行っている公共施設において、来館者への感染症拡大防止を徹底するため、アルコール手指消毒液や除菌用スプレー等の感染症予防対策物品を一括購入して、各公共施設に配布するもの。また、イベント開催等においても新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、イベント来館者への検温を実施するためのサーマルカメラ一式を購入するもの。	0.00人	0.00人							R2目標			R2実績	R2目標	R2実績
期間	R2~	0千円	0.00人	①200施設	200施設	200施設	200施設	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか						
期間	R2~	0.50人	0.09人	②343,014人(令和3年3月末人口)	200施設	200施設	200施設	目標達成済	感染症の拡大状況に応じて、各施設が必要とする物品を必要な時期に配布又は購入できるようにしていく。	感染症に罹患するリスクを低下させた。						
期間	R2~	4,084千円	0.09人		200施設	200施設			健康管理課長 小川和彦							
健康管理課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	成果指標の目標値を達成することができており、事業の目的である感染症の発生・まん延防止は図られていることと、引き続き確実な周知と適切な動奨に努めていく。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を				
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	957,558千円	819,986千円	①小児予防接種接種者数	小児予防接種接種率(延べ接種者数60,654人÷対象者数60,433人)※但し、子宮頸がんについては、積極的動奨を中止していることから除く。	感染症の発生・まん延を防止するためには市民の免疫レベルを高い水準に保つ必要があることから、予防接種の周知・動奨を確実に行うことにより、100%に近い接種率を維持していくことを目標とする。				令和2年10月からロタウイルスワクチンの定期接種を開始した。また、令和2年4月から妊娠を希望する女性等への風しん予防接種助成事業を開始し、妊婦の感染、先天性風しん症候群の発生を予防するとともに、対象者の負担軽減を図った。					
	各種予防接種事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	実績	R1実績	R2実績	R2目標値が未達成の理由・分析			予防疫種法					
		事業の目的及び具体的な内容	1,148,810千円	1,048,468千円							R1目標			R1実績	R2目標	R2実績
		各種予防接種を実施することで、市民の免疫レベルを高い水準に保ち、感染症の発生・まん延を防止する。【種類】(小児)ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、四種混合、不活化ポリオ、BCG、麻しん風しん混合、麻しん、風しん、水痘、日本脳炎、二種混合、子宮頸がん、ロタウイルス、(成人)男性の風しん(抗体検査含む)、高齢者インフルエンザ、成人用肺炎球菌	1.71人	0.00人							R1目標			R1実績	R2目標	R2実績
		14,214千円	0.00人	R1目標							R1実績			R2目標	R2実績	
期間	S23~	1.94人	0.60人	①60,654	100.0%	98.6%	100.0%	100.4%	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか					
期間	S23~	15,846千円	0.60人	②62,710	100.0%	100.4%	100.0%		目標達成済	新型コロナウイルスワクチン接種に関する国や県の動向も踏まえながら、感染症の発生・まん延を防止すべく、継続して事業を実施していく。	予防接種の高い接種率を維持することで、市民の免疫レベルを高水準に保っている。					
期間	S23~	15,846千円	0.60人		100.0%					健康管理課長 小川和彦						
健康管理課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	日々刻々と変化する国の動向やワクチンの供給状況等に対応し、本市の接種スケジュール等も適宜修正し、安心・安全な接種体制の整備に努めた。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を				
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	0千円	①新型コロナワクチン対策室設置	新型コロナウイルスワクチン接種率	全国的な世論調査等によると70%程度の方が接種を希望しているため。				特になし					
	新型コロナウイルスワクチン接種事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	実績	R1実績	R2実績	R2目標値が未達成の理由・分析			予防疫種法、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業実施要綱(国)					
		事業の目的及び具体的な内容	102,162千円	61,736千円							R1目標			R1実績	R2目標	R2実績
		0千円	0.00人	0.00人							R1目標			R1実績	R2目標	R2実績
		0千円	0.00人	0.00人							R1目標			R1実績	R2目標	R2実績
期間	R2~	0千円	0.00人	①令和2年2月1日	70.0%	0.0%	70.0%	70.0%	ワクチン供給状況等により、当初示された国のワクチンスケジュールに大幅な遅れが生じ、令和2年度には接種が開始されなかったため。	引き続き、国や県の動向を注視しながら、安全で安心な接種体制の確保に努める。	感染症に罹患するリスクを低下させた。					
期間	R2~	1.08人	0.12人	②令和3年3月1日	70.0%		70.0%			健康管理課長 小川和彦						
期間	R2~	8,821千円	0.12人		70.0%											
健康管理課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	大腸がん検診の受診者数は、平成29年度が16,328人、平成30年度が16,677人、令和元年度が16,788人と増加してきた。令和2年度は16,170人と減少したが、コロナ禍で検診実施期間が短縮されたことが原因と考えられる。今後、引き続き受診しやすい環境の整備を行うとともに、様々な媒体を活用した周知に努めていく。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を				
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	240,251千円	232,836千円	①延べ申込者数(前立腺がん検診を除く)	大腸がん検診受診率(受診者数÷対象者数×100=受診率)(受診者:16,170人、対象者:216,391人)	早期発見・早期治療により、がんによる市民の死亡の減少を図ることが目的であるため、性別に関係なく、また、保健センター及び市内協力医療機関のどちらでも受診できる大腸がん検診を指標とする。				がん検診の「レディースデー」を「女性の日」に改め、希望者が全員受診できるよう日数を増やし、検診を受診しやすい環境を整えるよう努めた。					
	がん検診事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	実績	R1実績	R2実績	R2目標値が未達成の理由・分析			健康増進法					
		事業の目的及び具体的な内容	252,649千円	182,679千円							R1目標			R1実績	R2目標	R2実績
		がん検診を実施することにより、がんの早期発見と早期治療につなげ、市民のがんによる死亡の減少を図る。【検診の種類と対象】胃・肺・大腸がん検診は40歳以上の男女、乳がん検診は40歳以上の女性、子宮頸がん検診は20歳以上の女性、前立腺がん検診は50歳から80歳までの5歳刻みの男性	3.05人	0.00人							R1目標			R1実績	R2目標	R2実績
		25,352千円	2.37人	R1目標							R1実績			R2目標	R2実績	
期間	S58~	2.20人	2.98人	①38,637人	8.1%	7.8%	8.2%	7.5%	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の発令などにより、がん検診の開始時期が本来より2か月遅れ、年間の受診期間が短くなったため。受診者数は令和元年度の16,788人から618人(3.7%)減少したが、年度後半の受診者数は令和元年度よりも多かった。	市民にとって分かりやすく、申し込みやすい仕組み作りに取り組む。また、受診控えをしている市民に検診の重要性を周知するとともに、祝休日の受診日や受診者が女性のみの日を設定し、引き続き受診しやすい環境の整備を行う。	対象年齢の市民に、市の補助を受け、安価でがん検診を受診する機会を提供している。					
期間	S58~	17,970千円	2.98人	②32,767人	8.3%					健康管理課長 小川和彦						
期間	S58~	17,970千円	2.98人	③3,244人	8.3%											

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)																	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)																		
健康管理課	実施計画ランク	事業の種類	一般	R1予算現額	R1決算額	①精神障害者本人またはその家族等を保護した日数 ② ③	指標名	目標設定の考え方・根拠		R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析	A	緊急時に即時即応の対応ができるよう、関係機関との連携を深め事業を実施している。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を															
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		836千円	770千円										支援対象者の利用率		分割	利用者の生活背景が複雑で困難な事例が多いことから、委託先の相談支援事業所職員との連携を重視しながら実施した。													
	精神障害者等一時宿泊事業	根拠法令		R2予算現額	R2決算額(見込み)										①69日間 ② ③		R2目標	R2実績	R2目標値が未達成の理由・分析	A	緊急時に即時即応の対応ができるよう、関係機関との連携を深め事業を実施している。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を								
		精神保健及び精神障害者福祉に関する法律		836千円	759千円																			②	100.0%	100.0%	支援を必要とする者が実際に事業を利用できた割合	利用者の生活背景が複雑で困難な事例が多いことから、委託先の相談支援事業所職員との連携を重視しながら実施した。			
		事業の目的及び具体的な内容		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合																			実績	R2目標	R2実績	R2目標値が未達成の理由・分析	A	緊急時に即時即応の対応ができるよう、関係機関との連携を深め事業を実施している。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を
		精神障害者当事者の精神状態が急変し、不穏な状況により家族等の身体に危険が及ぶ恐れがある場合に、精神障害者グループホーム等の福祉サービス事業所に一時宿泊することにより、精神障害者本人の精神状態の安定化と生活支援を行い、自宅等で安定した生活ができるようにする。また、同居の家族については危険回避等の支援を行う。		0.70人	0.00人																										
R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		5.818千円	0.00人	100.0%	100.0%	目標達成	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか																						
期間	H29~		0.52人	0.00人	4.247千円	0.00人	100.0%	100.0%	目標達成	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか																				
期間	H29~	4.247千円	0.00人	4.247千円	0.00人	100.0%	100.0%	目標達成	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか																					
健康管理課	実施計画ランク	事業の種類	一般	R1予算現額	R1決算額	①こころの健康講座 ②こころの美術展 ③	指標名	目標設定の考え方・根拠		R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を中止または縮小したため、こころの健康ガイドブック「はあとこガイドV」を作成・配布し、精神保健福祉の普及啓発に努めた。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を															
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		280千円	0千円										こころの健康講座とこころの美術展への来場者数		分割	精神障害及び精神障害者への理解を進めることが目的であるため、来場者数を指標とした。													
	こころの健康づくり普及啓発事業	根拠法令		R2予算現額	R2決算額(見込み)										①93人 ②2,805人 ③		R2目標	R2実績	R2目標値が未達成の理由・分析	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、普及啓発事業を中止または縮小したため。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を								
		精神保健及び精神障害者福祉に関する法律		957千円	710千円																			②	3,275人	3,428人	精神障害及び精神障害者への理解を進めることが目的であるため、来場者数を指標とした。	当初の予定より参加人数を減少させたり、3密を避けることに注意しながら講演会を実施した。			
		事業の目的及び具体的な内容		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合																			実績	R2目標	R2実績	R2目標値が未達成の理由・分析	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、普及啓発事業を中止または縮小したため。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を
		精神障害及び精神障害者に対する正しい知識の普及を図り、精神障害者及びその家族が健やかに暮らせる地域社会づくりを推進する。		0.75人	0.00人																										
R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		6.234千円	0.00人	3,325人	2,898人	精神保健福祉施策を推進するうえで、市民に精神疾患、精神障害者に対する正しい理解を深めていただくことが重要であることから、今後も普及啓発事業を継続していく。																								
期間	H8~		0.53人	0.10人	4.329千円	0.10人	3,325人	3,325人	精神保健福祉施策を推進するうえで、市民に精神疾患、精神障害者に対する正しい理解を深めていただくことが重要であることから、今後も普及啓発事業を継続していく。	市民を対象とした講演会等により、精神保健及び精神障害者に対する正しい知識の普及を行った																					
期間	H8~	4.329千円	0.10人	4.329千円	0.10人	3,325人	3,325人	精神保健福祉施策を推進するうえで、市民に精神疾患、精神障害者に対する正しい理解を深めていただくことが重要であることから、今後も普及啓発事業を継続していく。	市民を対象とした講演会等により、精神保健及び精神障害者に対する正しい知識の普及を行った																						
健康管理課	実施計画ランク	事業の種類	一般	R1予算現額	R1決算額	①精神保健福祉士による延べ相談件数 ②精神保健福祉手帳所持者数 ③自立支援医療(精神通院)の利用者数	指標名	目標設定の考え方・根拠		R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析	S	新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、電話相談が7,082件であり昨年度より1,566件増加した。訪問支援や相談件数については昨年並みであったものの、依然として精神保健に関する市民のニーズは大きいと認識している。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を															
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		7,956千円	0千円										精神保健福祉士による延べ相談件数		分割	精神障害の早期発見、治療、社会復帰及び社会経済活動への参加の促進を図ることが精神保健福祉業務の趣旨であるため、精神保健福祉士による精神保健相談の延べ件数を指標としている。													
	精神保健事業	根拠法令		R2予算現額	R2決算額(見込み)										①8,992件 ②3,586件 ③6,516件		R2目標	R2実績	R2目標値が未達成の理由・分析	S	新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、電話相談が7,082件であり昨年度より1,566件増加した。訪問支援や相談件数については昨年並みであったものの、依然として精神保健に関する市民のニーズは大きいと認識している。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を								
		精神保健及び精神障害者福祉に関する法律		0千円	0千円																			②	8,000件	7,442件	精神障害の早期発見、治療、社会復帰及び社会経済活動への参加の促進を図ることが精神保健福祉業務の趣旨であるため、精神保健福祉士による精神保健相談の延べ件数を指標としている。	新型コロナウイルス感染拡大の影響による生活の変化に留意しながら相談支援を実施した。即時即応の対応を求められる相談もあるため、関係機関等との連携を図りながら対応した。			
		事業の目的及び具体的な内容		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合																			実績	R2目標	R2実績	R2目標値が未達成の理由・分析	S	新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、電話相談が7,082件であり昨年度より1,566件増加した。訪問支援や相談件数については昨年並みであったものの、依然として精神保健に関する市民のニーズは大きいと認識している。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を
		精神保健相談については、来所、訪問、電話及びメール等により行い、必要に応じて専門医による相談を実施する。精神障害の早期発見、早期治療と治療の継続等、社会復帰に向けた総合的な支援を行う。		5.28人	0.00人																										
R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		43,887千円	0.00人	8,200件	8,992件	社会情勢の変化により精神保健のニーズも変化していくため、変化に対応できるよう職員の相談支援技術の向上に努めていく必要がある。																								
期間	H14~		4.68人	0.85人	38,226千円	0.85人	8,200件	8,200件	社会情勢の変化により精神保健のニーズも変化していくため、変化に対応できるよう職員の相談支援技術の向上に努めていく必要がある。	個別の相談支援を実施し、精神保健福祉の充実、精神障害者の就労など社会経済活動への参加の促進を実施した。																					
期間	H14~	38,226千円	0.85人	38,226千円	0.85人	8,200件	8,200件	社会情勢の変化により精神保健のニーズも変化していくため、変化に対応できるよう職員の相談支援技術の向上に努めていく必要がある。	個別の相談支援を実施し、精神保健福祉の充実、精神障害者の就労など社会経済活動への参加の促進を実施した。																						
健康管理課	実施計画ランク	事業の種類	一般	R1予算現額	R1決算額	①自死遺族支援「わかちあいの会」の運営 ②思春期こころの健康相談事業	指標名	目標設定の考え方・根拠		R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析	A	新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、思春期こころの健康相談の件数は、R1実績より10人増加した。思春期の精神保健相談の需要が多くなってきているため相談支援の充実が必要であると認識している。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を															
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		1,017千円	959千円										自殺対策計画の進捗度(思春期こころの健康相談事業)		分割	「生きるを支える所沢市行動計画」(自殺対策計画)に基づく施策のうち「思春期こころの健康相談事業」の相談者数を指標とした。													
	自殺防止対策にかける啓発事業	根拠法令		R2予算現額	R2決算額(見込み)										①5回実施 参加者46人 ②12回実施 30人 ③		R2目標	R2実績	R2目標値が未達成の理由・分析	A	新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、思春期こころの健康相談の件数は、R1実績より10人増加した。思春期の精神保健相談の需要が多くなってきているため相談支援の充実が必要であると認識している。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を								
		自殺対策基本法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律		1,007千円	977千円																			②	29人	20人	市内や近隣市町村の高校に対し本事業の周知を行った。また、思春期の心性に配慮し、早期介入ができるよう相談者の生活状況等に配慮し対応した。				
		事業の目的及び具体的な内容		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合																			実績	R2目標	R2実績	R2目標値が未達成の理由・分析	A	新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、思春期こころの健康相談の件数は、R1実績より10人増加した。思春期の精神保健相談の需要が多くなってきているため相談支援の充実が必要であると認識している。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を
		自殺対策基本法の基本理念には、自殺が個人的な問題としてのみとらえられるべきものではなく、その背景には様々な社会的要因があることを踏まえ、その対策が社会的な取組として実施されなければならないとされている。本市においてもその趣旨を踏まえ相談や普及啓発等の自殺防止対策を実施する。		0.73人	0.00人																										
R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		6,068千円	0.00人	31人	30人	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか																							
期間	H21~		4.68人	0.05人	38,226千円	0.05人	31人	31人	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか																					
期間	H21~	38,226千円	0.05人	38,226千円	0.05人	31人	31人	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか																						